



# 2022年3月期

## 第1四半期決算説明会資料



**FIRST EVER A.I. CRAFTED BY LOVE**

Combining the efficiency of Machine learning with Human emotional input to bring back the outstanding performance of Glenn Gould to life.

### DEAR GLENN

"Dear Glenn" is a unique A.I. driven project integrating Ai/Tech and Branding in one. The aim of the project is to bring the craft of the deceased pianist Glenn Gould back to life through A.I. It opens up a whole new possibility to resurrect incredible human artistry to be used for education and collaborative live performance. Project has 3 phases.

1. Crafting the A.I. Glenn using over 100 hours of archival data as well as extensive oral interviews of human related think (performance practice to teach the A.I.)
2. The project document is the one created by human.
3. Live performance of A.I. and human artist at the largest media art festival in the world, the Esplanade 2021. For the first time, people gathered in the lobby space of a 1.5 to not only witness the great A.I. performance but also to see the collaborative live performance.

2021年8月5日

ヤマハ株式会社

# 決算発表のポイント

## 決算概要

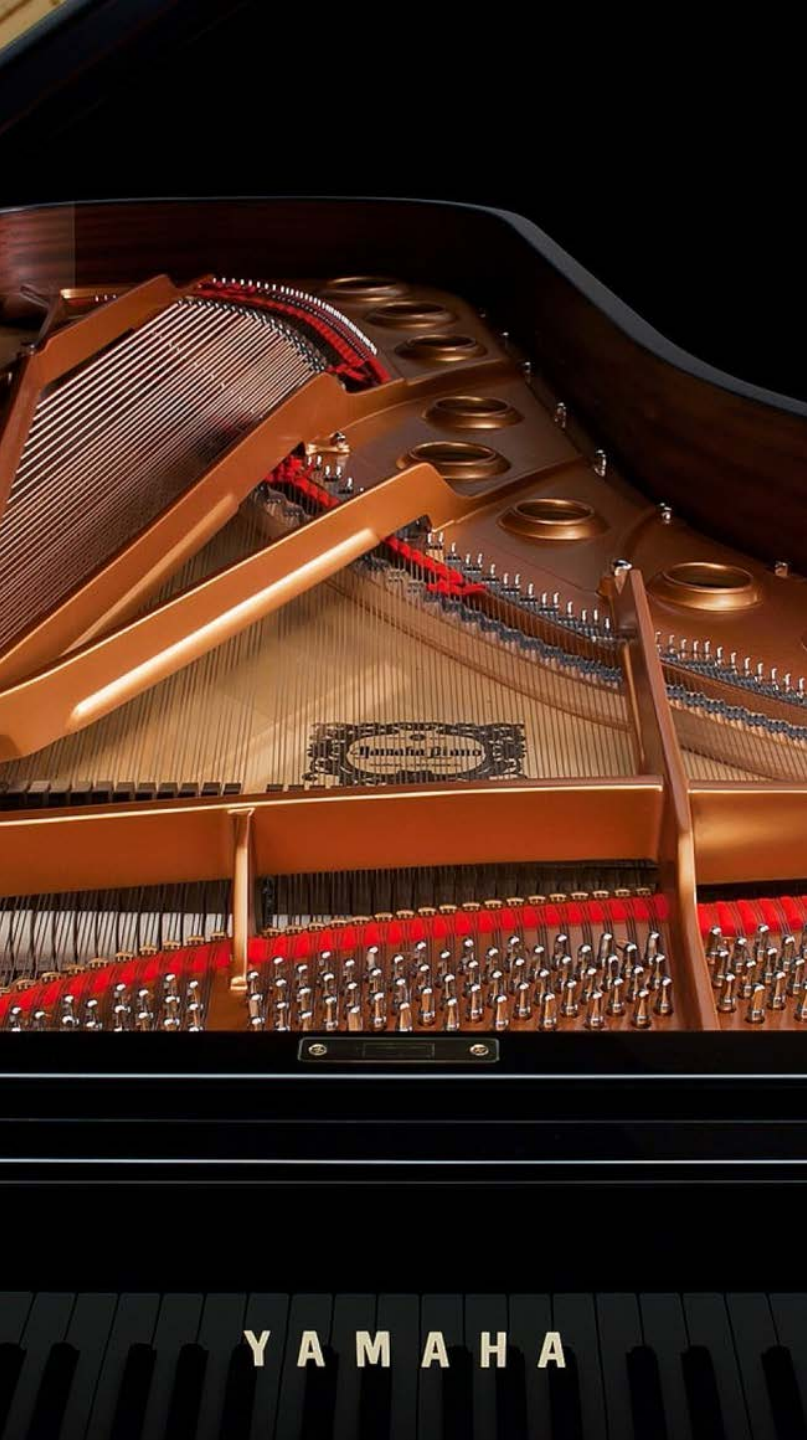
### 【22/3月期 1Q実績】

- ・ 物流混乱、供給不足等あるも、堅調な需要に支えられ増収増益
- ・ 当期利益は前年赤字から134億円の黒字に転換

## 業績予想

### 【22/3月期 通期予想】

- ・ 市況回復により需要堅調も、感染再拡大、半導体不足等、先行きは依然不透明なため、前回予想(2021年5月発表)を据え置く(売上収益4,000億円、事業利益470億円)



Y A M A H A

# 1. 決算概要

# 業績概要

(億円)

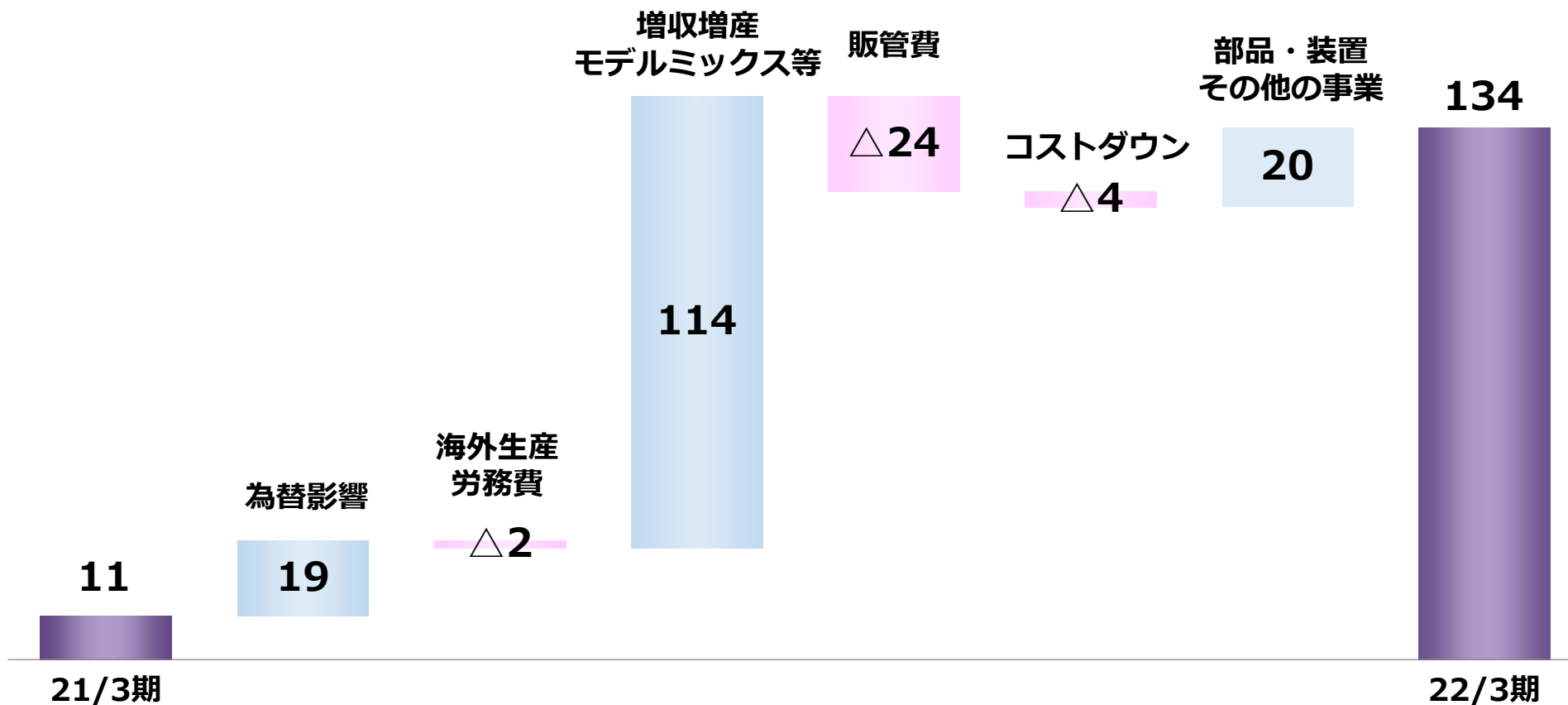
	21/3		22/3		前期比	
売上収益	718		<b>1,025</b>		+307	+42.7% <sup>*2</sup>
事業利益 (事業利益率)	11 (1.6%)		<b>134</b> <b>(13.1%)</b>		+122	+1,077.0%
当期利益 <sup>*1</sup>	△18		<b>134</b>		+152	-
					*2 +35.3% (為替影響除く)	
為替レート (円)						
売上収益 (期中平均)	US\$	108	<b>110</b>			
	EUR	119	<b>132</b>			
利益 (決済レート)	US\$	108	<b>110</b>			
	EUR	121	<b>127</b>			

\*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

# 事業利益増減要因

## 前期との比較

(億円)



# 事業別業績

(億円)

		21/3	22/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	466	686	+219	39
	事業利益	25	104	+79	15
	事業利益率	5.4%	15.1%	+9.8P	
音響機器事業	売上収益	195	245	+49	13
	事業利益	△11	13	+24	4
	事業利益率	△5.5%	5.5%	+11.0P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	56	94	+38	1
	事業利益	△3	17	+20	0
	事業利益率	△5.3%	17.6%	+22.9P	

## 通期業績予想

(億円)

	21/3	22/3 予想	前期比	
			21/3	22/3 予想
売上収益	3,726	<b>4,000</b>	274	7.3% <sup>*2</sup>
事業利益 (事業利益率)	407 (10.9%)	<b>470</b> (11.8%)	63	15.4%
当期利益 <sup>*1</sup>	266	<b>410</b>	144	54.0%

\*2 7.9%  
(為替影響除く)

## 為替レート (円)

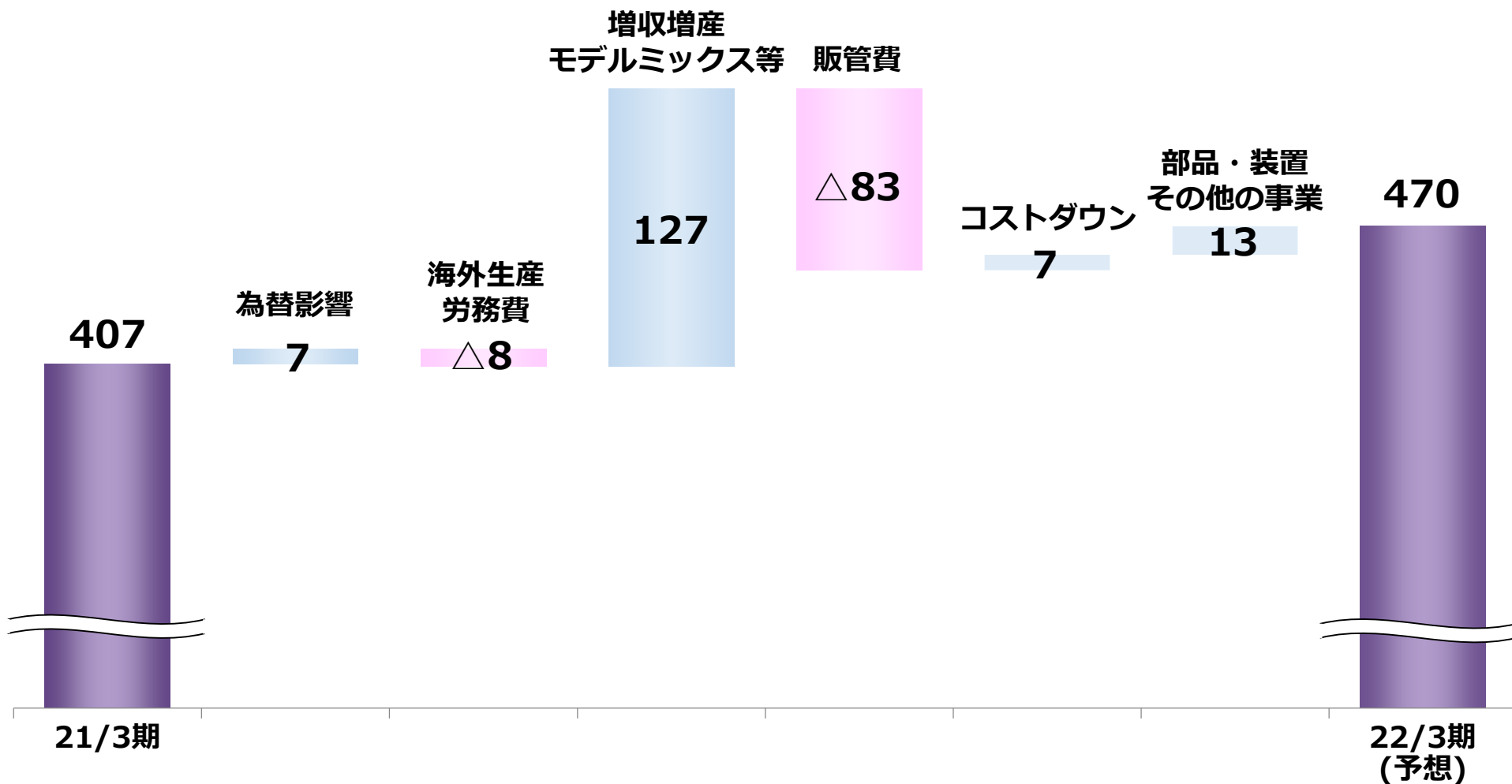
売上収益 (期中平均)	US\$	106	<b>105</b>
	EUR	124	<b>125</b>
利益 (決済レート)	US\$	106	<b>105</b>
	EUR	121	<b>125</b>

\*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

## 事業利益増減要因

## 前期との比較

(億円)

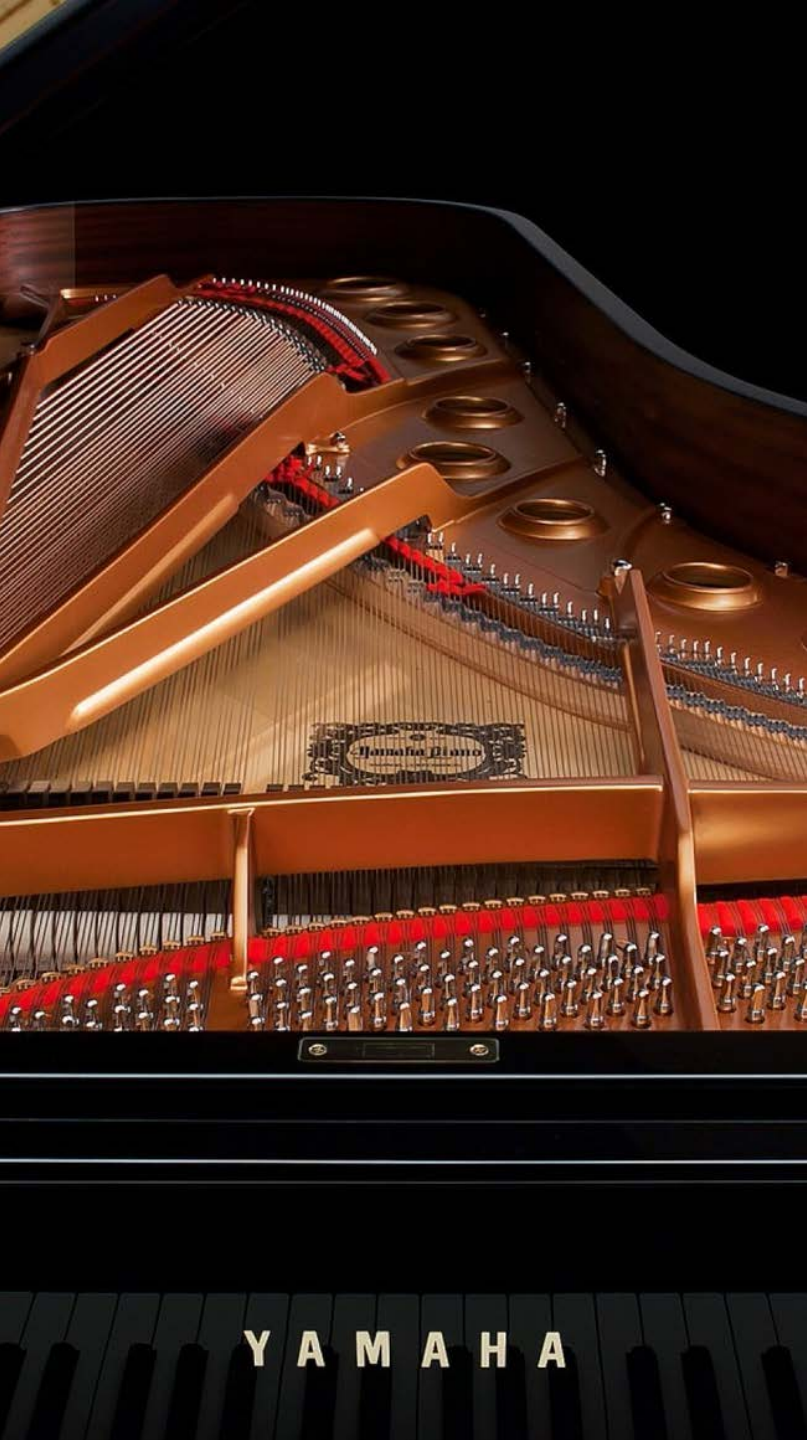




## 事業別業績予想

(億円)

		21/3	22/3予想	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	2,390	2,580	190	△17
	事業利益	324	365	41	2
	事業利益率	13.6%	14.1%	+0.5P	
音響機器事業	売上収益	1,038	1,080	42	△4
	事業利益	71	80	9	5
	事業利益率	6.8%	7.4%	+0.6P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	298	340	42	△1
	事業利益	12	25	13	△0
	事業利益率	4.1%	7.4%	+3.3P	

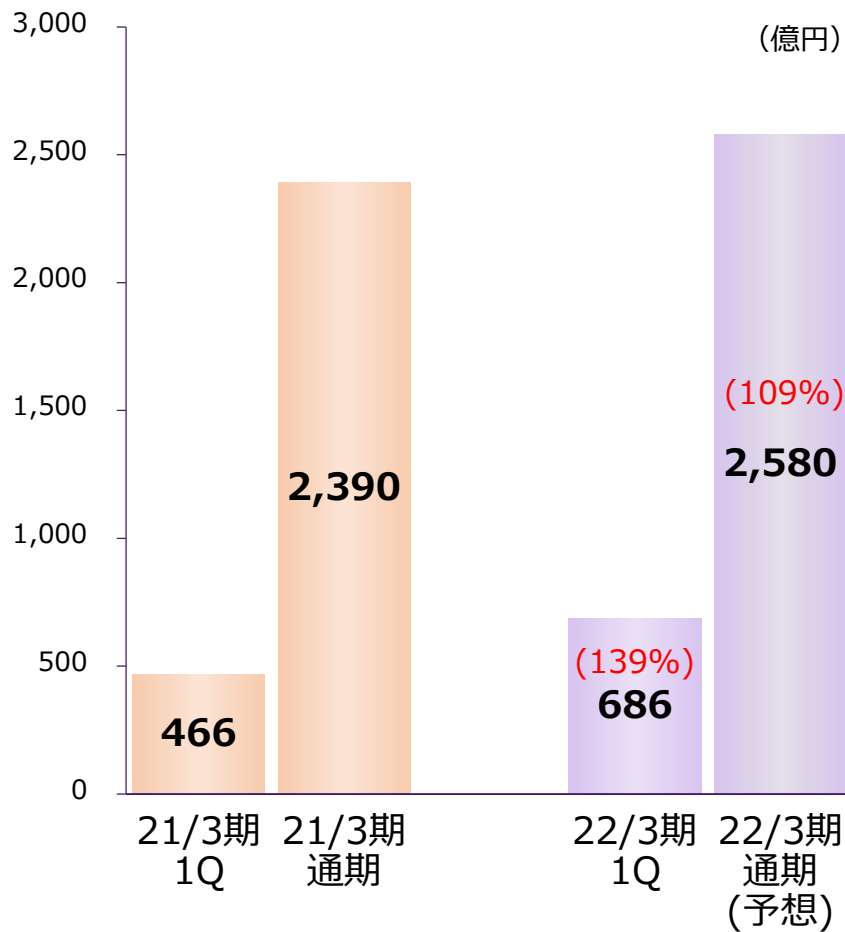


Y A M A H A

## 2. 事業別概要

# 売上収益・事業利益

## 売上収益



( )内は為替を除いた実質ベースでの前年同期比増減

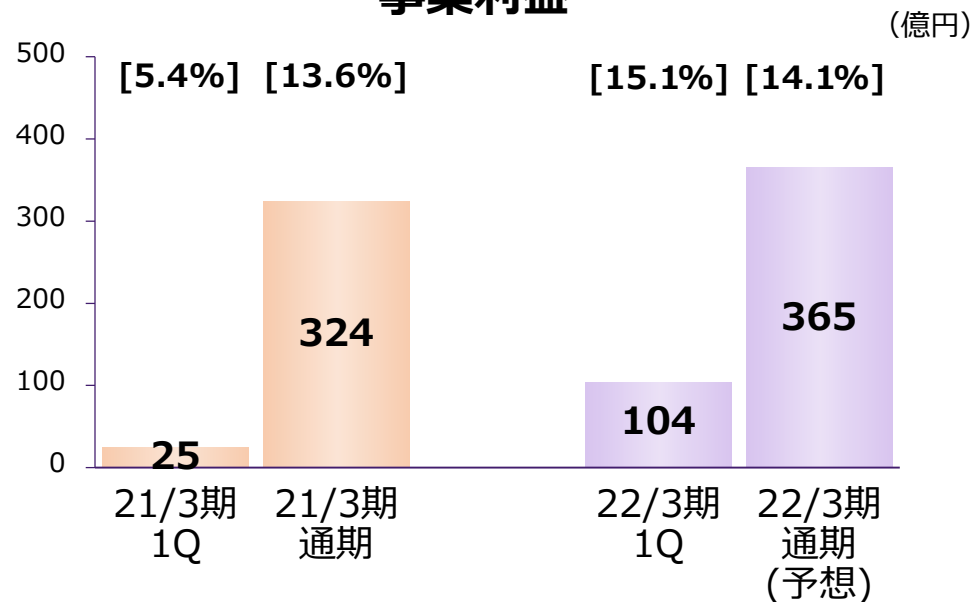
### [1Q状況] 全商品カテゴリーで2桁の増収

- ・ピアノ・電子楽器・ギターは、供給不足継続も、需要旺盛でコロナ前の20年3月期を上回る、管弦打は対コロナ前の約8割水準
- ・各地域で市況回復進み、日本以外はコロナ前の売上水準を回復

### [通期見込] 市況回復による増収増益を予想

- ・コロナ影響、半導体調達等に不透明感あるも、市況回復により全カテゴリー増収を予想
- ・全地域復調を予想

## 事業利益



[ ]内は事業利益率

# 主要商品 販売状況

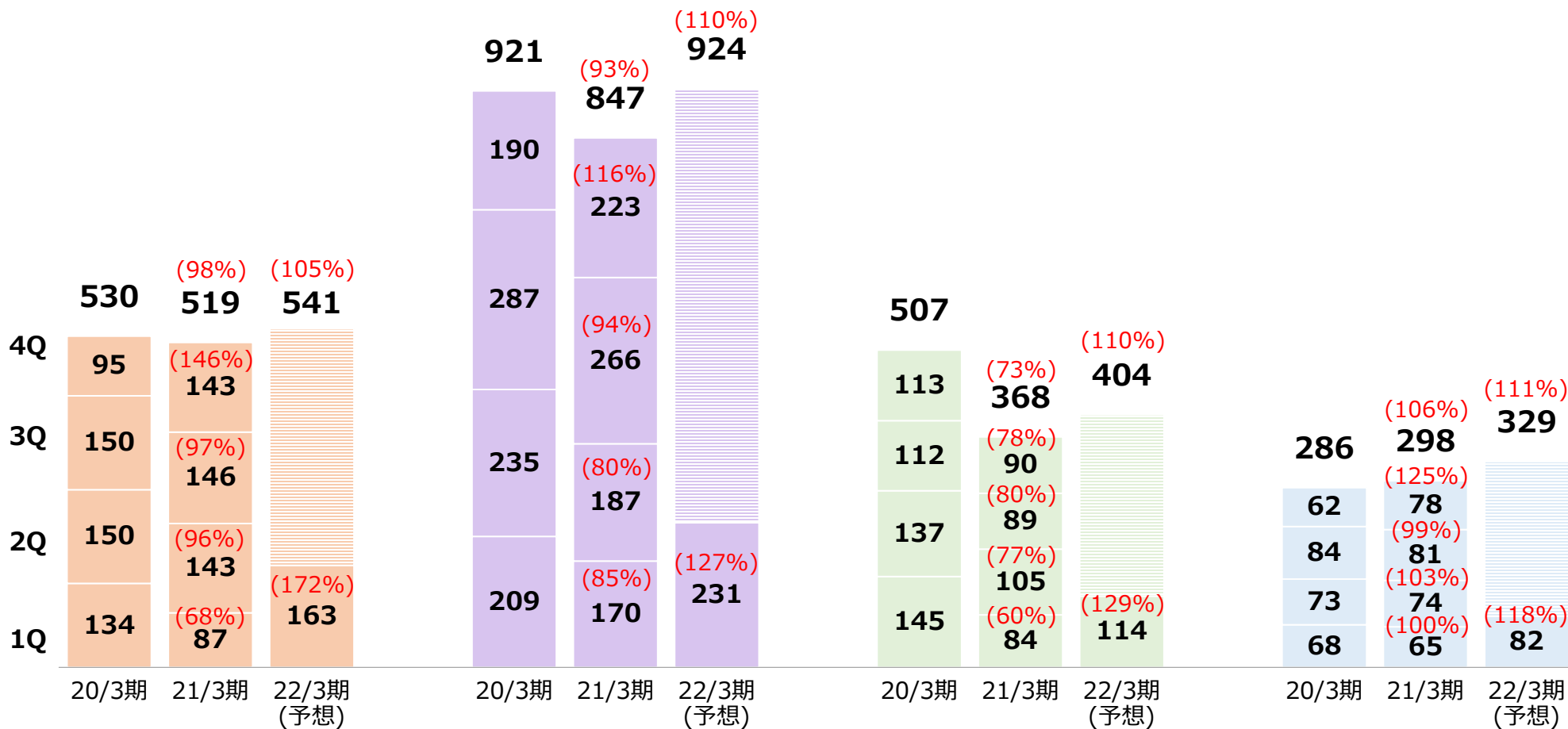
## ピアノ

## 電子楽器

## 管弦打楽器

## ギター

(億円)

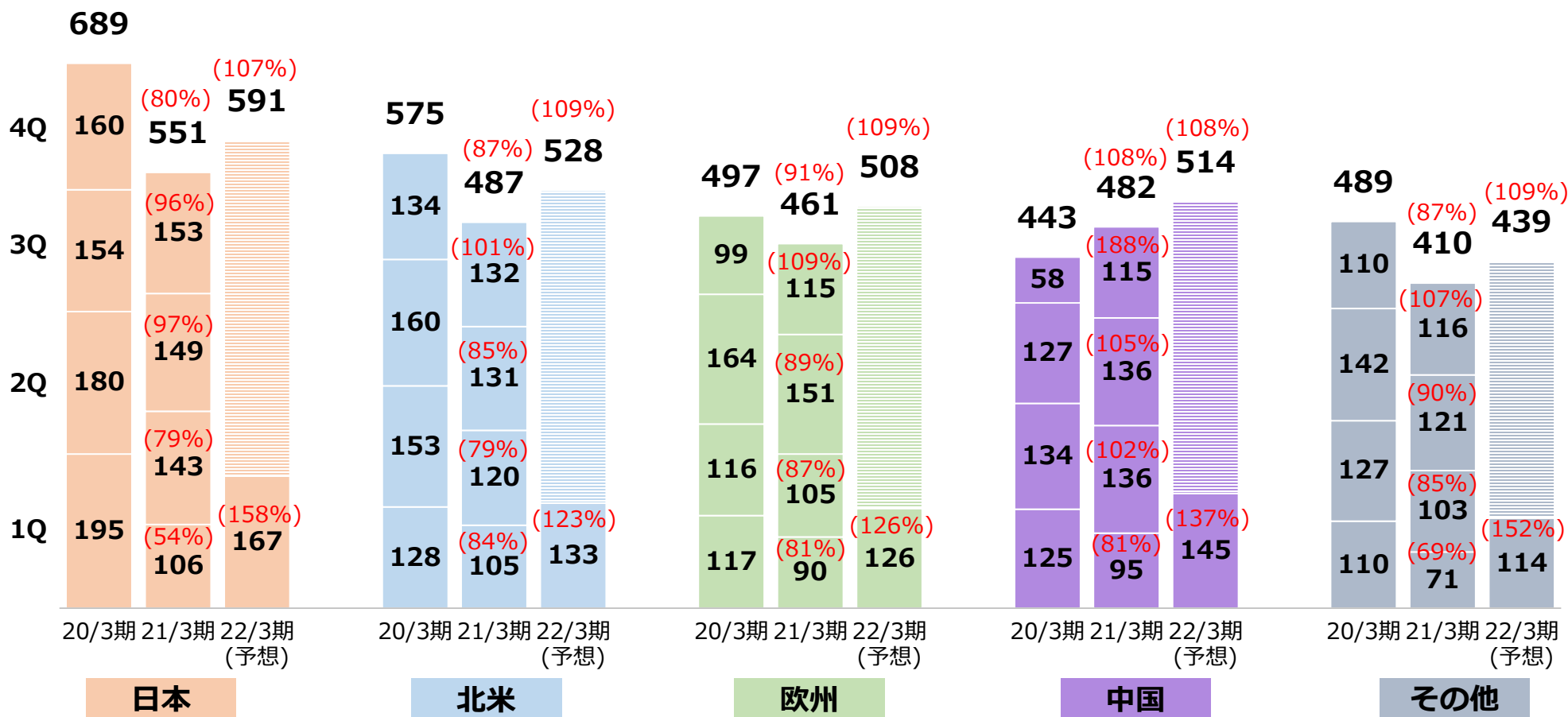


( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

\*ギターは、Line 6・Ampegブランド売上を含む 11

# 地域別販売状況

(億円)

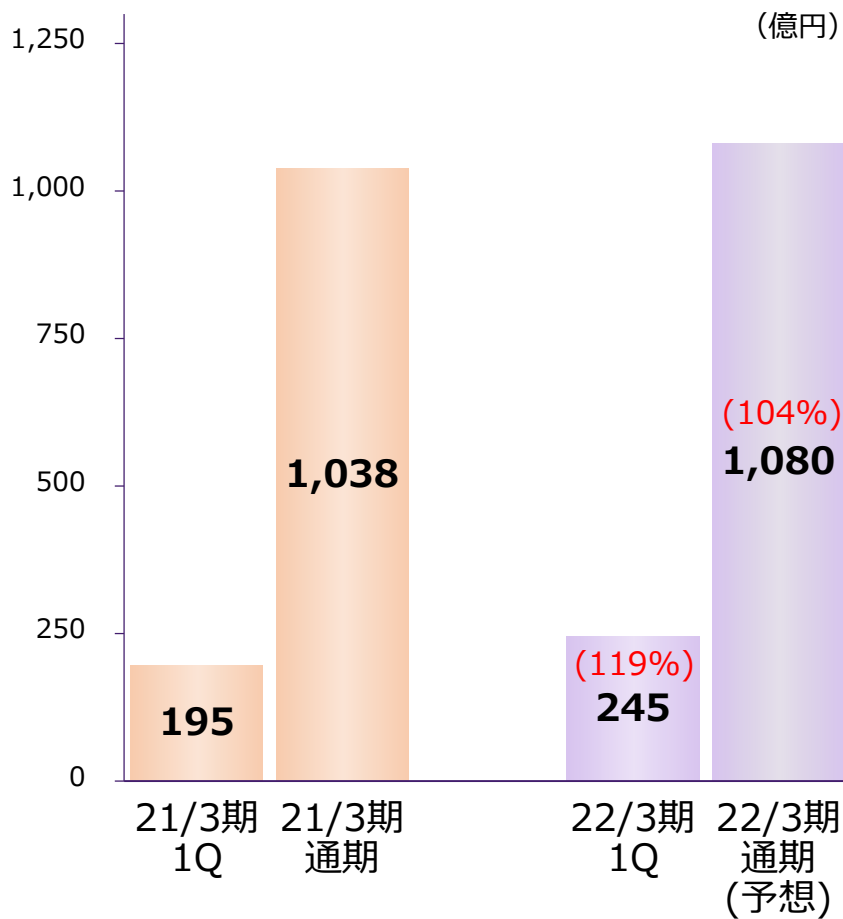


※ソフト、音楽教室等を含む

( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

# 売上収益・事業利益

## 売上収益



( )内は為替を除いた実質ベースでの前年同期比増減

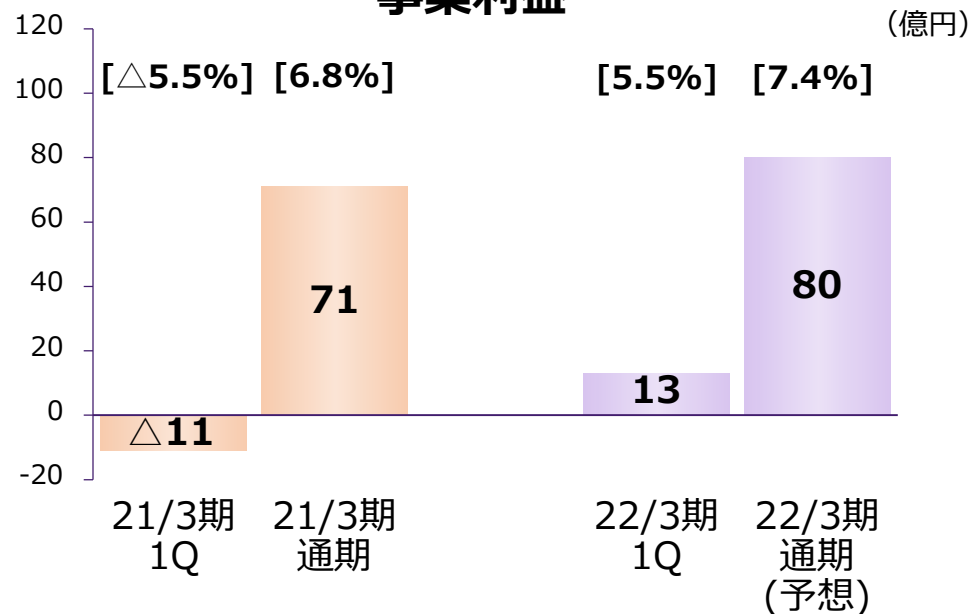
### [1Q状況] AVは減収、PAは市況回復基調

- AVは半導体不足により減収
- PAはライブ市場が欧米で回復基調
- ICTは好調継続
- 北米はPA回復基調もAVは供給不足で苦戦

### [通期見込] 供給制約あるも、PA復調、ICT成長継続を予想

- AVはサウンドバー、イヤフォンの成長を予想も、半導体不足リスクあり
- PAは設備市場の回復を予想
- ICTは引き続き会議システム、ネットワーク関連機器の高需要を予想

## 事業利益



[ ]内は事業利益率

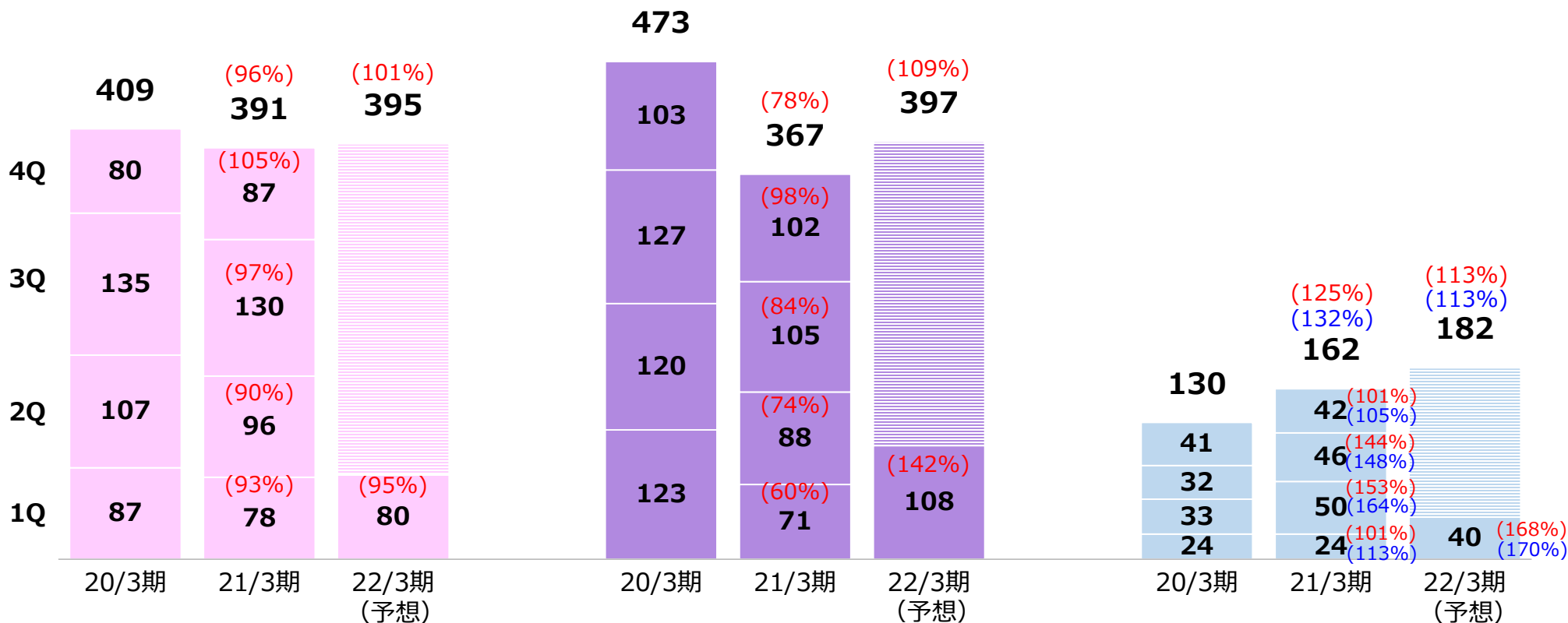
# 主要商品 販売状況

## AV機器

## PA機器

## ICT機器

(億円)



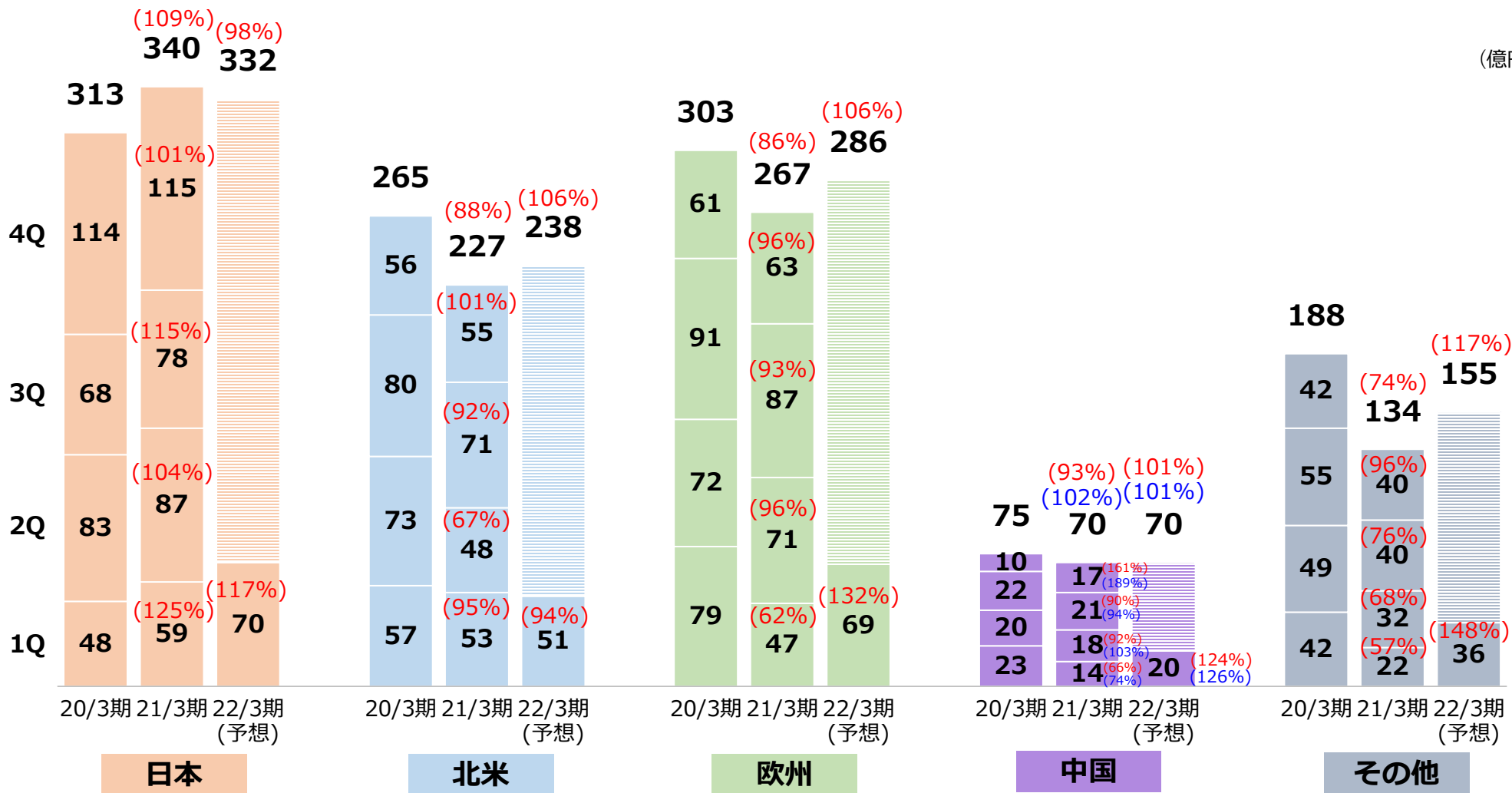
( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

※PA機器はハード売上収入のみ（設備工事を除く）

( )内はOEM向けを除いた前期比増減

# 地域別販売状況

(億円)



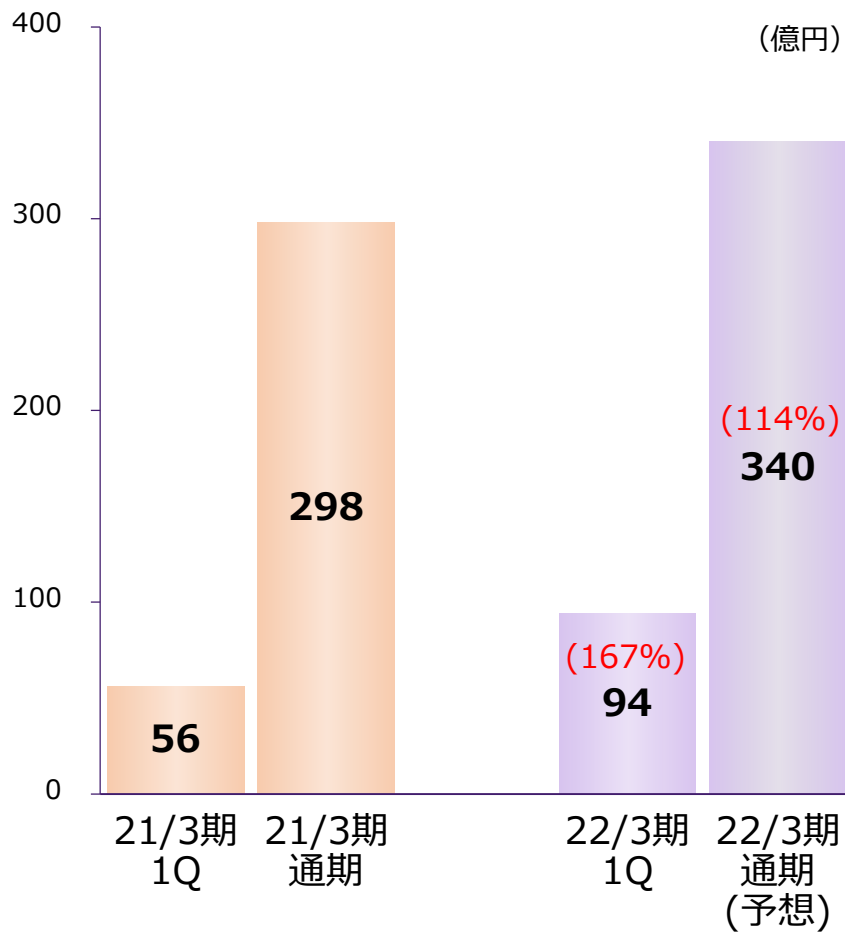
( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

( )内はOEM向けを除いた前期比増減



# 売上収益・事業利益

## 売上収益



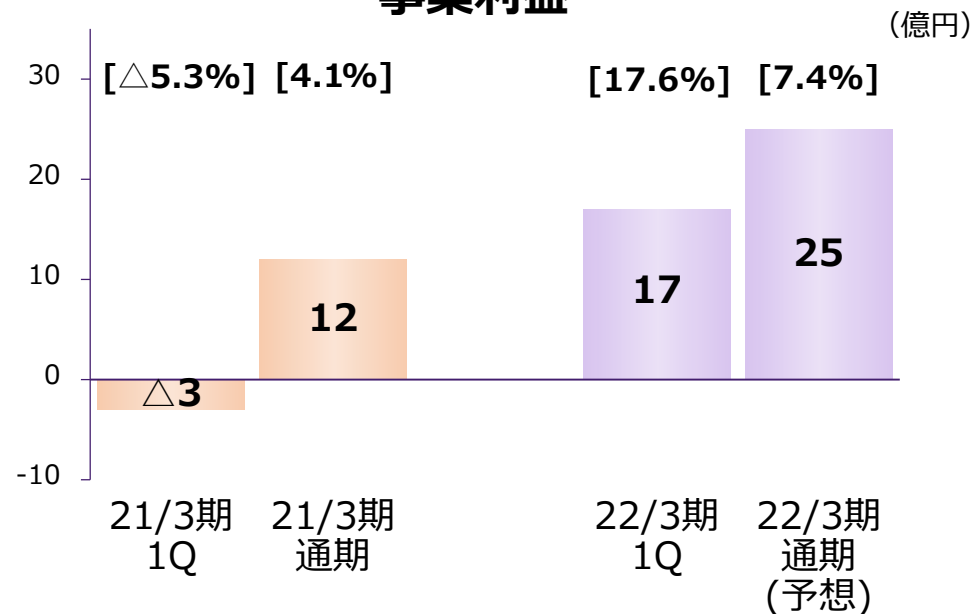
### [1Q状況]

・市況回復により、電子デバイス、自動車用内装部品、FA機器とも増収

### [通期見込]

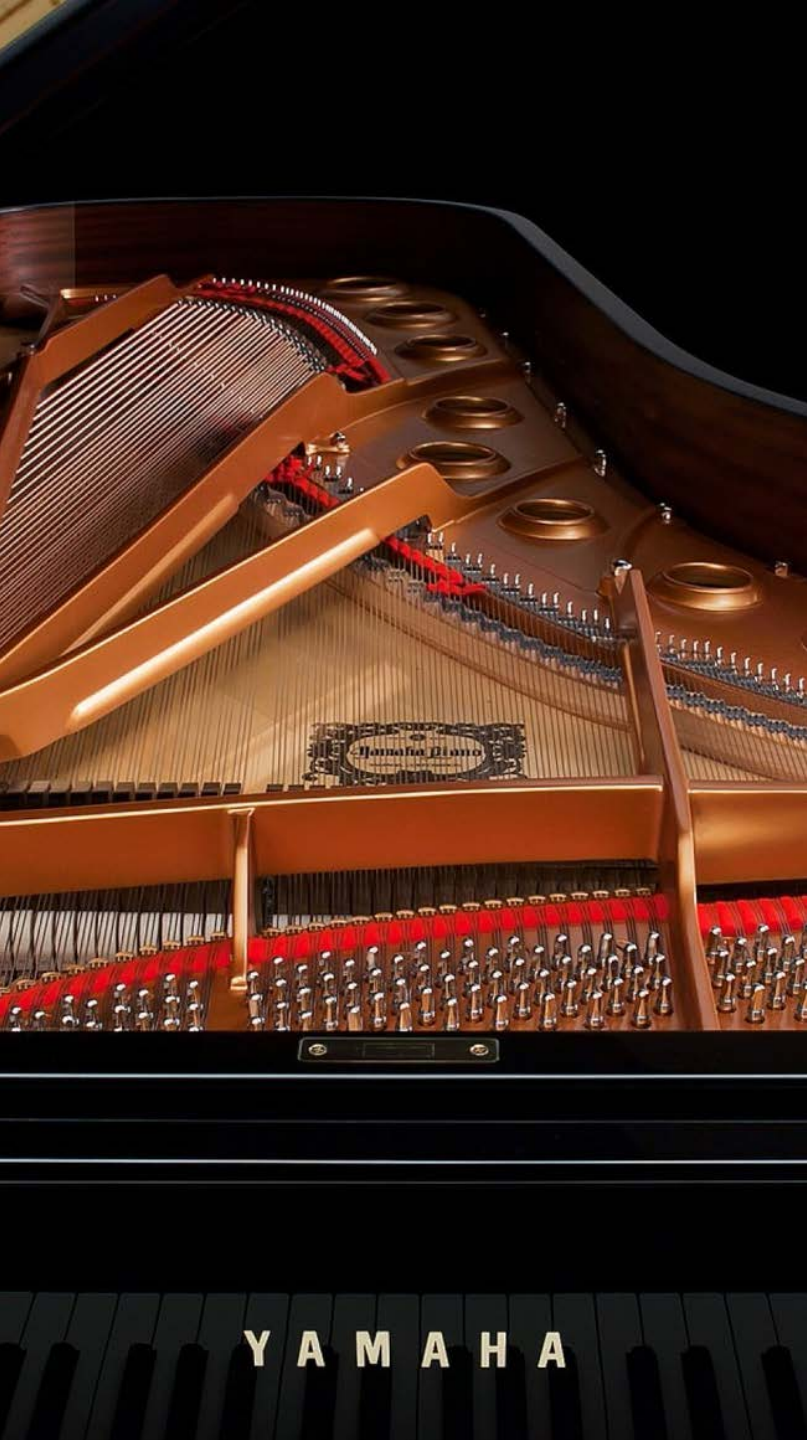
- ・ヤマハブランドオーディオの拡大を予想
- ・自動車用内装部品も引き続き需要堅調を予想

## 事業利益



( )内は為替を除いた実質ベースでの前年同期比増減

[ ]内は事業利益率



### 3. その他財務数値

# 貸借対照表

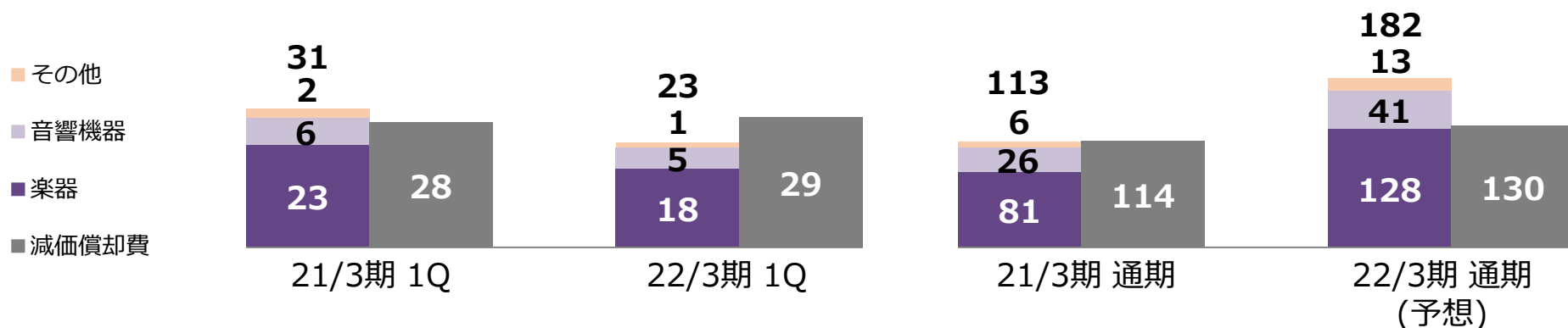
(億円)

	21/3末	22/3 1Q末	増減	22/3末 (予想)
現金及び現金同等物	1,293	1,411	118	1,484
営業債権他	573	545	△29	607
その他金融資産	86	65	△21	88
棚卸資産	968	974	6	1,010
他流動資産	91	75	△15	79
非流動資産	2,565	2,699	134	2,591
<b>資産計</b>	<b>5,576</b>	<b>5,769</b>	<b>193</b>	<b>5,859</b>
流動負債	1,009	950	△58	1,001
非流動負債	598	659	61	594
資本計	3,969	4,160	190	4,264
<b>負債及び資本計</b>	<b>5,576</b>	<b>5,769</b>	<b>193</b>	<b>5,859</b>

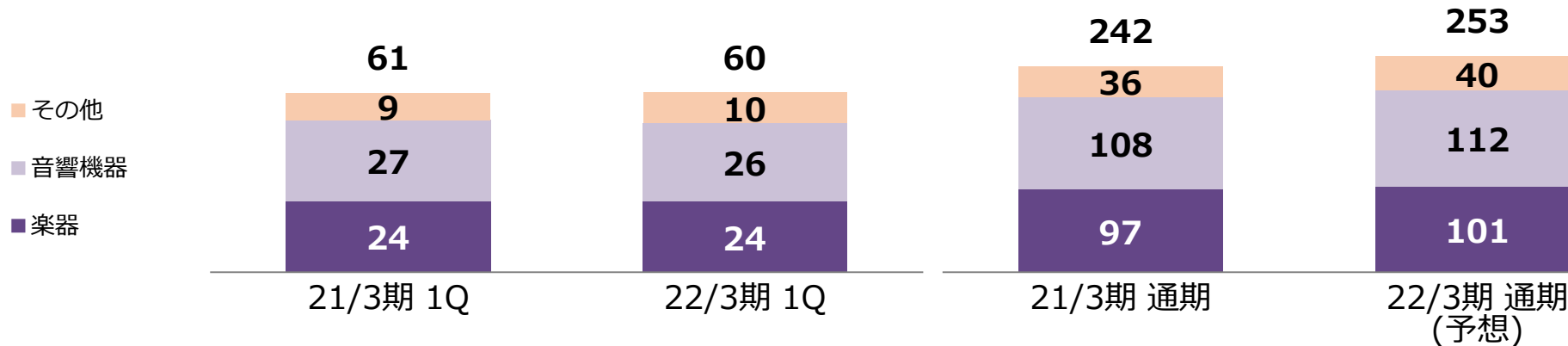
# 設備投資額・減価償却費/研究開発費

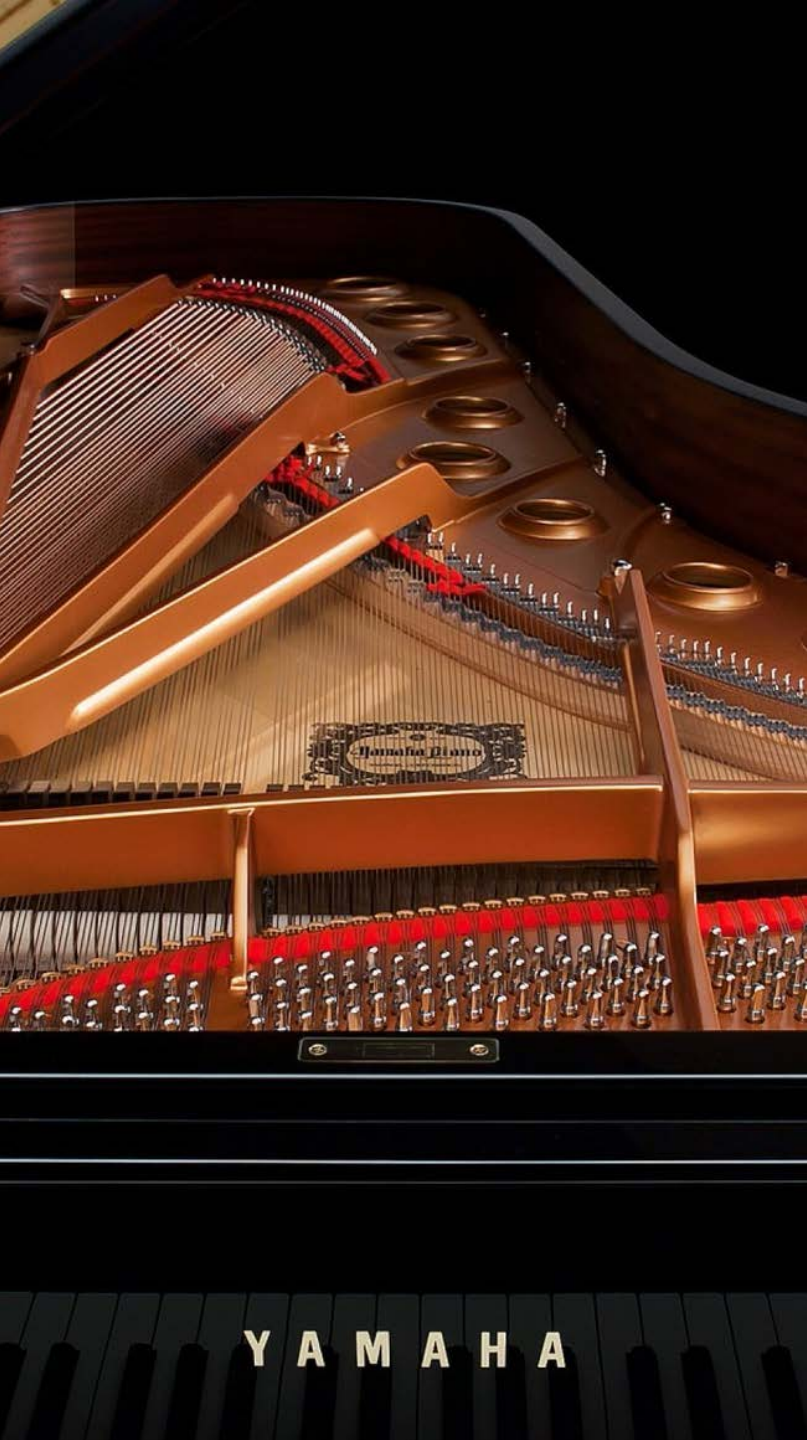
## 設備投資額/減価償却費

(億円)



## 研究開発費





# 付属資料

Y A M A H A

# 1Q その他収支等

(億円)

		21/3	22/3
<b>事業利益</b>		<b>11</b>	<b>134</b>
その他収益・費用収支	固定資産処分損益	0	47
	その他	△27	2
	計	△26	49
<b>営業利益</b>		<b>△15</b>	<b>183</b>
金融収支計	受取配当金	3	3
	その他	△5	1
	計	△2	4
<b>税前利益</b>		<b>△17</b>	<b>187</b>
法人所得税費用		1	53
非支配株主利益		0	0
<b>当期利益*</b>		<b>△18</b>	<b>134</b>

\* 親会社の所有者に帰属する当期利益

# 通期 その他収支等

(億円)

		21/3	22/3 (予想)
<b>事業利益</b>		<b>407</b>	<b>470</b>
その他収益・ 費用収支	固定資産処分損益	△1	47
	その他	△56	3
	計	△57	50
<b>営業利益</b>		<b>350</b>	<b>520</b>
金融収支計	受取配当金	27	36
	その他	△6	△1
	計	21	35
<b>税前利益</b>		<b>371</b>	<b>555</b>
法人所得税費用		104	144
非支配株主利益		1	1
<b>当期利益*</b>		<b>266</b>	<b>410</b>

\* 親会社の所有者に帰属する当期利益

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。